



一般社団法人日本メディア英語学会
Japan Association for Media English Studies



JAMES Newsletter

No. 148

January 23, 2025

目次

1. 新代表理事（会長）就任の挨拶
2. 新副会長就任の挨拶
3. 研究分科会のご案内
 - 1)メディア英語談話分析研究分科会（1月25日開催）
 - 2)新語・語法研究分科会（2月8日開催）
 - 3)ビジネス英語文化研究分科会
4. 新入会員紹介
5. 2025年度新刊テキスト、及び商品・紹介（賛助会員50音順）
 - 1)金星堂
 - 2)三修社
 - 3)成美堂
 - 4)語学学習支援システム CaLabo® EX. (CHieru)
 - 5)VERSANT™ by Pearson (NIKKEI Media Marketing)

~~~~~

JAMESは、2024年10月13日の定時社員総会での承認により、山内圭新会長のもと、新体制で始動いたしました。役員一丸となって、本学会のさらなる発展に力を尽くして参ります。会員の皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

.....

## 会長挨拶

一般社団法人日本メディア英語学会の代表理事に就任して

代表理事 山内 圭(新見公立大学)

2024年10月の理事会において本学会の代表理事(会長)に就任することになりました新見公立大学の山内圭と申します。まずは、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は1993年度の全国大会で本学会での初めての研究発表をさせていただいておりますので、本学会への入会は1993年または前年の1992年だったかと思えます(記憶があいまいですみません)。本学会への所属歴は一応30年を超えております。私自身、決して器用な人間ではありませんが、アメリカ文学や国際交流や英語教育に加えてメディア英語教育(時事英語)の研究も細々と行っており、この度は、永年お世話になってきた本学会への恩返しのつもりで、代表理事という身に余る大役を引き受けさせていただきます。学会の会長経験としては、本学会よりも規模的には小さな学会ではありますが、日本ジョン・スタインベック協会の会長を2018年から2023年まで5年あまり務めたことがあります。分野が異なりますので、その時の経験がどれほど活かせるかわかりませんが、有能でやる気あふれる理事及び幹事の皆様と力を合わせ、また会員の皆様のご協力を仰ぎながら、樗木勇作・前代表理事より引き継いだ日本メディア英語学会の舵取りを担当させていただきます。

本学会の概要については、学会ウェブサイトにて述べさせていただいております。よこれまでの学会の考えを以下のように踏襲してゆきたいと考えております。

一般社団法人日本メディア英語学会は、「英語とメディアに関わる学際的・総合的な研究および教育活動を行うとともに、その成果を社会に発信し、もって学術文化の発展に寄与するとともに、社会的な貢献を積極的に果たしていくことを目的と」しています(定款第3条)。すなわち、本学会は「英語」と「メディア」をテーマに「研究」「教育」「社会貢献」の3つの柱に取り組む学会です。

グローバル化の進展に伴い、否応なしに、「英語」と「メディア」の重要性は高まっています。それらを肯定的に評価するにせよ、否定的に批判するにせよ、「英語」と「メディア」、あるいは「メディア英語」と「英語メディア」を対象にした学問研究は現代社会においてもっとも重要な営みと言えるでしょう。日本メディア英語学会はその先頭に立って活動を行う学会です。日本メディア英語学会は、開かれた学会であり、大学に所属する研究者のみならず、メディア関係者、通訳者・翻訳者、ビジネス界で活躍している方々など、広く社会一般からの会員で成り立っています。英語とメディアに興味のある方なら、どなたでも歓迎です。どうかご参加ください。

---

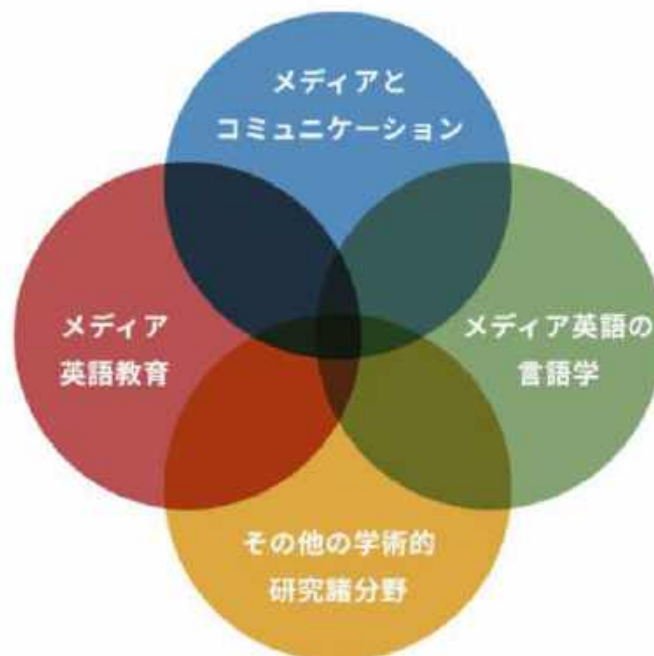
## 本学会の研究対象分野・領域 — 4つの柱

学会にとって最も本質的なものは「研究」であり、その推進と充実であると私たちは考えています。そのためには、まずこの学会がどのような学術分野・領域を研究対象とするのかについて、共通の理解を得ておく必要があります。日本メディア英語学会が対象とする研究分野・領域には、以下の4つの柱があります。

- ◆メディアとコミュニケーション
- ◆メディア英語教育
- ◆メディア英語の言語学
- ◆その他の学際的研究諸分野

以下の図は、この「4つの柱」のそれぞれが相互に独立したものではなく、他の柱と密接な関連を持ちながら、複合的・学際的な研究のフィールドを形成していくという本学会の特徴を表しています。図の右側には、それぞれの柱について具体的な研究テーマまたは研究領域の例を挙げてあります。当然のことながら、可能な研究テーマ・領域のすべてを網羅しているわけではありませんが、「日本メディア英語学会」が、その母体である旧・日本時事英語学会の遺産を継承しつつ、どのような学会を目指そうとしているかについてのイメージは、おおよそつかめるのではないかと考えます。

日本メディア英語学会の研究対象分野（概略図）



### メディア英語教育

教授法、教材論、評価・テスト、カリキュラム、第二言語習得理論とメディア英語教育、教育へのマルチメディア利用、NIE、メディアリテラシー教育、批判的メディア英語学習論、情報発信のためのメディアコミュニケーション教育、英語ジャーナリズム論、インターネット英語論、etc  
中学・高校・大学および一般人を対象にしたメディアリテラシー教育への貢献（講師派遣、教材開発、指導者養成など）

### メディアとコミュニケーション

レトリック批評、批評的言説分析(CDA)、メディア広告論、マス・コミュニケーション論、地域メディア研究、ニューメディア・コミュニケーション論、メタファー論、メディアとグローバル化論、多文化・多言語共生論、異文化コミュニケーション、ビジネスコミュニケーション、テクニカルコミュニケーション、政治コミュニケーション、公共サービスコミュニケーション、リーガルコミュニケーション、メディカルコミュニケーション、組織内コミュニケーション、etc

### メディア英語の言語学

語彙・語法研究、辞書論(Loxicography)、統語論、意味論、語用論、文体論、日英対照言語論、翻訳・通訳論、放送英語論、専門分野の英語(ESP)、国際語としての英語論、リーダーシップ研究、Plain English 研究、etc

### その他の学術的研究諸分野

メディア英語およびメディア・コミュニケーションを既成学問分野の枠組みで論じる学際的分野。例：メディア英語（またはメディアコミュニケーション=以下同）の社会学、メディア英語の文化論、メディア英語の政治論、メディア英語の心理学、メディア英語の認知科学、メディア英語の情報学、etc

---

## 主な学会行事・活動

次に、本学会の行事・活動の主な内容をご紹介します。具体的な活動内容は従来通りですが、理事会としては、このうち、①学会誌の充実、②年次大会における研究発表、および③各地区例会と研究分科会の充実、の3点に特に重点を置いてゆきたいと考えています。また、学会としての社会貢献にも力を入れてゆきます。

- ◆年次大会・総会：毎年10月に開催
  - ◆地区研究例会：各地区（東日本地区、中部地区、西日本地区、特別地区）ごとに年2回程度の研究会を開催（ただし、開催回数は各地区ごとに決定。特別地区については必要に応じて開催）。
  - ◆研究分科会：各研究分科会ごとに年3～4回程度を開催（ただし、開催回数は各分科会ごとに決定）
  - ◆その他の研究会やセミナー、ワークショップ、および各種社会貢献活動
  - ◆会誌：Media, English and Communication 年1回発行
  - ◆ニュースレター：年3回発行
-

## 学会誌について

2011年度から本会の会誌名を **Media, English and Communication** と改めております。この誌名は、本学会が広い意味でのメディアとコミュニケーションを研究対象とすること、および主として「英語」による各種のコミュニケーション行為や現象に関心を持つ研究者の集まりであることを表しています。

会誌のアーカイブは **J-Stage** < <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/james/-char/ja> > で行なっています。

なお、旧会誌『時事英語学研究』は、科学技術振興機構の協力を得て、その全号（第1号～第47号〔ただし第48号と49号を除く〕）を電子アーカイブ化し、一般に公開しています（本ウェブサイトの「学会誌」内「『時事英語学研究』アーカイブについて」照）。

---

## 入会をご希望の方へ

日本メディア英語学会は開かれた学会です。本学会の趣旨に賛同いただける方であれば、原則としてどなたでもお申し込みいただけます（ただし、理事会による審査がありますので、入会があらかじめ保証されているわけではありません）。入会ご希望の方は、「入会案内」のページにオンラインフォームがありますので、こちらからお申し込みください。会費は、正会員が **7,000** 円、賛助会員（企業・団体会員）が **30,000** 円です。賛助会員の方には、本会のホームページ、会誌、ニューズレターへの広告無料掲載および年次大会等でのブースの出店の特典があります。学生会員制度は設けていませんが、学生（院生）の方には研究奨励金制度があります。

本学会の前身である日本時事英語学会が設立されたのは **1963** 年のことですが、設立当時は会員数が **500** 名を超えていたと諸先輩方から聞いておりました。**2024** 年 **9** 月 **30** 日現在、本会員数が **143** 名、賛助会員数が **5** 社様となっております。会員数が **3** 分の **1** 以下になってしまっていることについては、時代の流れという言葉だけで片付けてしまってよいものかわかりません。現在、役員会においても会員数の維持または増加に向けての方策を話し合っているところです。会員の皆さんからもご提案・ご意見などがありましたら、ぜひお寄せいただきたいと思うとともに、皆様のお知り合い等で本学会の活動に興味関心をもっていただける方にぜひご入会を勧めいただければと思います。

.....

## 新副会長挨拶

このたび日本メディア英語学会理事を拝命いたしました畠山由香子と申します。樗木勇作前代表理事の下では、2年間、東日本地区長として、地区例会の運営に携わってまいりました。計4回の地区例会には多くの会員の皆さまにご参加いただきましたこと、また、開催準備と当日運営に際しまして、地区幹事の皆さまに多くのご協力を賜りましたことに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年度からは、学会運営に関わらせていただく貴重な機会を頂戴いたしました。微力ではございますが、山内圭代表理事体制におきましては、本部事務局担当の業務執行理事として本学会の発展に貢献させていただく所存です。ご経験豊富で、監事に就任されました南津先生のご助言を仰ぎつつ、進めてまいりたいと存じます。

今後とも どうぞ宜しくお願い申し上げます。

お茶の水女子大 畠山 由香子

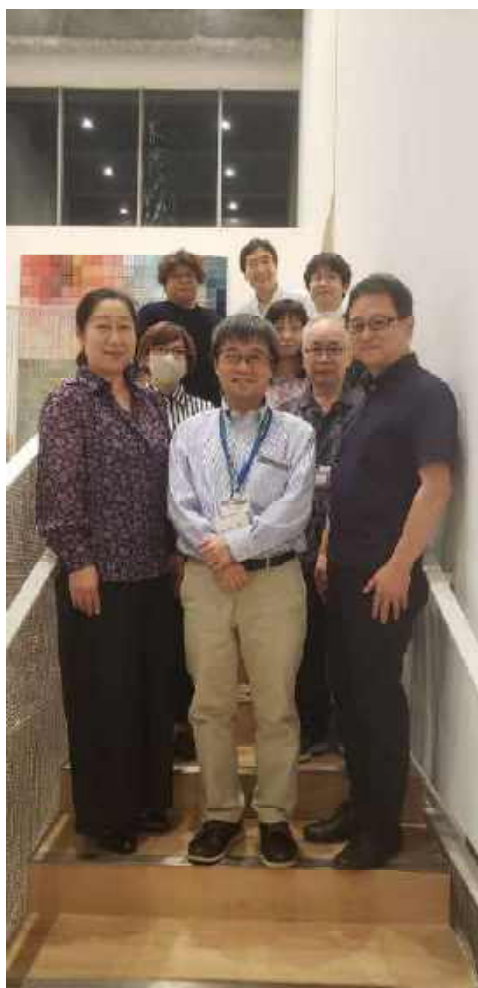
-----

このたび、日本メディア英語学会（JAMES）の東日本地区長、総務委員長、社会連携委員長を担当する副会長を務めさせていただくことになりました吉原学です。本学会は、英語教育とメディア活用を融合させた新たな学びの可能性を追求し、研究者や教育者が知見を共有する場として発展してまいりました。その活動の一端を担えることを、大変光栄に感じております。

近年、デジタル技術の進化により、メディアを通じた英語教育の形が大きく変化しています。私自身、この数年、ICTを活用した英語教授法に関心を持ち、研究テーマとして取り組みながら、実践にも応用してまいりました。これからも皆様と新しいアイデアや実践を共有し、活発な議論を促進していきたいと考えております。また、若手研究者や実践者が参加しやすい環境を整え、次世代の成長を支援してまいります。

今後とも、会員の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社マナビ・クリエーション 代表取締役、慶應義塾大学非常勤講師 吉原 学



<2024年10月13日 第一回理事会後に撮影>

新理事、及び、新監事です。

皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

南津 佳広、榊原 克巳、武藤 輝昭

稲永 知世、三田 弘美、石上 文正

畠山 由香子、山内 圭、吉原 学



井田 浩之



宮原 淳

<https://james.or.jp/gaiyo/>

.....

## 研究分科会

今回、ご案内の研究分科会はどちらも Zoom での参加が可能です。

New year, new thing! 初めての方も奮ってご参加ください。

### メディア英語談話分析研究分科会

2025 年 1 月 25 日 (土) 14:00-17:00

形式: ZOOM によるリモート形式 (URL は開催 1 週間程度前に通知)

内容: 第一部(14:00-16:00):

Philip Seargeant 著"The Art of Political Storytelling"の翻訳の読み合わせ

取り扱い箇所: 第 1 章 (宮崎康支会員)、第 2 章 (冨成絢子会員)、  
第 3 章 (石上文正会員)

第二部(16:00-17:00): 上記の翻訳に関する計画の打ち合わせ

なお、第二部は研究分科会メンバーのみの参加とします。

研究分科会メンバー以外でご関心のある方は、可能ならば課題図書"The Art of Political Storytelling"を手許にお持ちください。この本は、政治家のことばによる言説の構築を物語論の観点から論じたものです。

参加を希望される方は代表の宮崎康支 (yasushi.miyazaki [a] gmail.com \*アットマークに変換してください) までご連絡ください。

ご参加お待ちしております。

メディア英語談話分析研究分科会

代表 宮崎 康支

-----

### 新語・語法研究分科会

第 166 回新語・語法研究分科会を行います。

日時: 2025 年 2 月 8 日 (土) 14 時から 16 時 (その後、自由参加での交流会あり)

開催場所: 文京区シビックセンター、5 階会議室 D

(<https://www.city.bunkyo.lg.jp/b040/p006602.html>)

\*ハイブリッド式、ZOOM での参加・可

\*東京メトロ丸の内線、南北線、後樂園駅徒歩 1 分、都営地下鉄大江戸線、三田線春日駅 1 分



## 1. 新語フォーラム

司会・鈴木理枝会員

発表ご希望の方は、2月7日までにレジュメを三田までお送り下さい。A4サイズのレジュメを作成していただき、最高5つに絞り発表してください。お一人様の発表時間は10分になります。

## 2. シンポジウム

「Word of the Year - ユーキャン新語大賞、Oxford/ADS など新語について」

パネリスト：小池温会員、田中満佐人会員、山内圭会員

司会・三田弘美会員

参加をご希望される方は代表の三田<hiromitissot [a]yahoo.co.jp>までご連絡ください。

(アットマークに変換してください)

Zoomでご参加の方は、あらかじめお知らせください。前日にURL、ミーティングID、パスコード、発表者のレジメをお送りいたします。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

(次回の研究分科会は6月14日の予定にしております。研究発表ご希望の方は、ご連絡をお待ちしております)

新語・語法研究分科会

代表 三田 弘美

---

### **ビジネス英語文化研究分科会**

ビジネス英語文化研究分科会では、例会にてご発表いただける方を随時募集しています。発表は30分程度(質疑応答含む)で、ビジネス英語などの実務的なコミュニケーションを始め、英語圏におけるビジネス文化、グローバル時代の英語など、幅広くビジネス・英語・文化に関するものであれば何でも結構です。発表ご希望の方は、発表題目と要旨(200字程度)を武藤(tmuto@kansai.ac.jp)までお送りください。

ビジネス英語文化研究分科会

代表 武藤 輝昭

---

.....

## 新入会員紹介

### 4. 東海林 康彦会員

このたび、東海林康彦様より入会申し込みがあり、理事会にて入会が承認されました。東海林康彦様は、英語教育・メディア研究分科会と新語・語法研究分科会に所属をご希望されています。

News Letter で新入会員の方にご挨拶をいただくことによって、会員同士の交流を促進し、本会を積極的に活用していただき、会員の方々に研究の裾野を広げ、深めていただきたいと考えております。

-----

皆様、はじめまして。小生は新語・語法の特に音声面の変化や多様性に興味がございます。新語・語法は変化の激しく、解釈等扱いにはやや注意が必要でもあり同時にやりがいのある分野だと感じております。

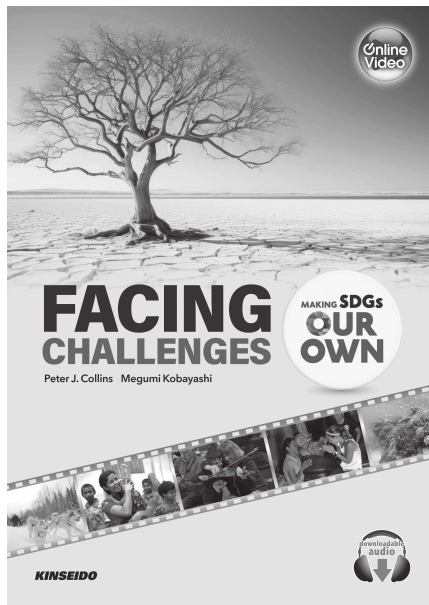
今後、皆様とご一緒させていただけますことを楽しみにしております。これから何卒よろしくお願ひ致します。

東海林 康彦

.....

2025 年度新刊テキスト、及び商品紹介（賛助会員 50 音順）

# 2025 年度新刊案内



## Facing Challenges Making SDGs Our Own

世界の映像から考える「自分事として」の SDGs

Peter J. Collins / 小林めぐみ 編著

世界の映像を通し SDGs を自分事として発信！

SDGs に関連する諸問題について、多彩なアクティビティを通してグローバルとローカルの両方の視点で考える、4 技能対応の映像教材。学生自身の感想や考えをクラスメートと共有するアクティビティを随所に設け、学生が SDGs に向き合い、英語で発信する力を伸ばします。教授用資料には復習用小テスト収録

¥ 3,200 (税込 ¥ 3,520)

B5 140 pp. 全 14 章

978-4-7647-4223-9

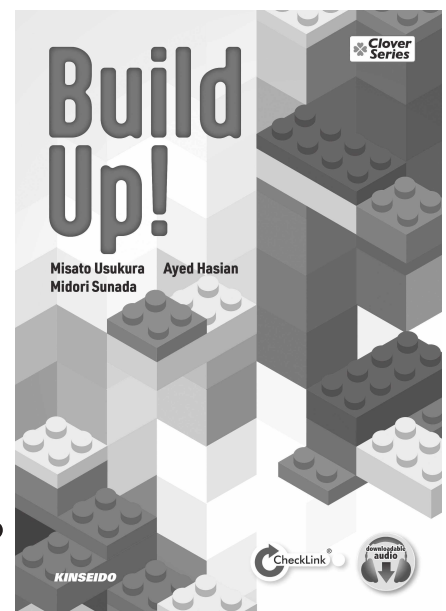
## Build Up!

積み上げ式基礎英語

白倉美里 / 砂田緑 / Ayed Hasian 著

語句や文法を無理なく飽きさせずに繰り返して  
基礎を身に付ける「積み上げ式」メソッド

英語に苦手意識を持つ学生たちに「無茶をさせないこと」と語句や文法などを「飽きさせずに繰り返させること」にこだわった「超リメディアル向け」総合教材。達成感や英語学習の楽しさを見つけられるような授業の実現を目指し、多彩な工夫を凝らして作られています。教授用資料には Spot Dictation を収録



¥ 2,100 (税込 ¥ 2,310)

B5 92pp. 全 15 章

978-4-7647-4221-5

金星堂  
since 1918  
KINSEIDO

株式会社 金星堂

東京都千代田区神田神保町 3-21 (〒101-0051)

Tel 03-3263-3828 / FAX 03-3263-0716

e-mail text@kinsei-do.co.jp

http://www.kinsei-do.co.jp



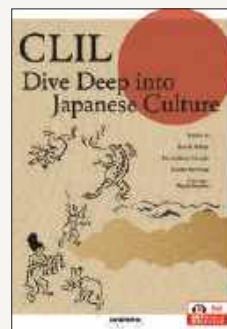
# 2025 年度新刊英語テキスト



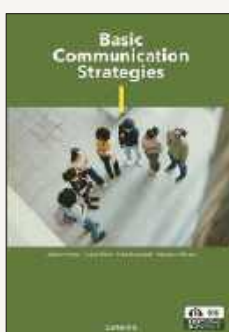
エッセイと会話の基礎英語読本



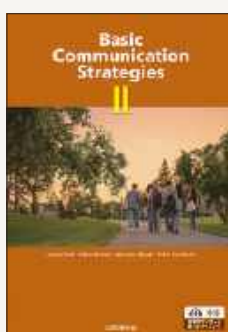
〔超入門〕考える基礎英語読本



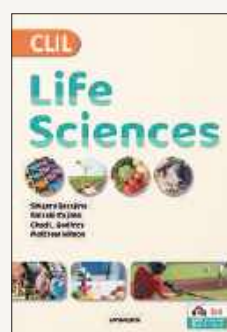
CLIL 英語で伝える  
日本の伝統文化・伝統工芸



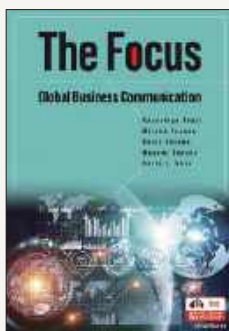
ベーシック・コミュニケーション  
ブック 1



ベーシック・コミュニケーション  
ブック 2



CLIL 英語で考える  
身のまわりの科学と生活



グローバルキャリアへのステップ

弊社 HP で内容見本や音声サンプルを  
ご確認くださいませ→



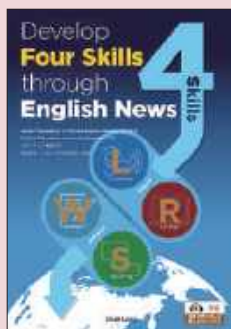
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-2-22

TEL 03-3405-4511

FAX 03-3405-4522

text@sanshusha.co.jp

**SANSHUSHA**



## ニュース英語で4技能を鍛える

好評テキスト

日本メディア英語学会 英語教育・メディア研究分科会 編著

- ・英語ニュースを通して情報をインプット、アウトプットへの展開を目指した総合教材。
- ・ニュース記事の語彙レベルは、4000語でのカバー率60%以上（平均67.4%）、CEFR B2でのカバー率69%以上（平均75.9%）。
- ・科学や環境など幅広いジャンル選定。5W1Hの質問からYes/Noとその理由までアウトプットできるよう展開。

B5判・104頁（全14課） 定価1,980円

# SEIBIDO 2025 NEW TITLES

## English Across the World

世界をめぐる発信型総合英語

総合教材・コミュニケーション

佐藤 明彦 Richard Heselton 共著

●定価 2,200 円(税込)

## Daily English for College Students Book 1

〈場面・機能別〉大学生のための英語 Book 1

総合教材・コミュニケーション

中西 のりこ 平井 愛 Mary Ellis 共著 ●定価 2,310 円(税込)

## Science Alive

知って得する日常の科学

総合教材・科学

石井 隆之 岩田 雅彦 Joe Ciunci 共著 ●定価 2,200 円(税込)

## Reading Palette Blue -Intermediate-

英文読解への多面的アプローチ(中級) クリティカル・リーディング

総合教材・リーディングスキル・クリティカル・リーディング

武藤 克彦 Bill Benfield 共著 ●定価 2,090 円(税込)

## Active Reading Strategies Book 2

リーディングスキル

角山 照彦 LiveABC editors 共著 ●定価2,750円(税込)



## Where to Next? -Travel and Tourism Communication

観光・海外旅行のための英語コミュニケーション演習



リスニング・スピーキング・観光英語

James Bury Anthony Sellick 堀内 香織 共著 ●定価 2,640 円(税込)

## Let's Write & Learn English!

-From Sentence to Paragraph-

総合教材・ライティング

基礎から始める英語ライティング 一文からパラグラフ・ライティングまで



角山 照彦 Timothy F. Hawthorne 共著 ●定価 2,530 円(税込)

## CBS NewsBreak 7

CBS ニュースブレイク 7

オンライン映像教材・ニュース

熊井 信弘 Paul Daniels Stephen Timson 共著 ●定価 2,860 円(税込)

## Deliver Your Message: Enhancing Presentation Skills with Videographics

ビデオグラフィックスを活用した英語プレゼンテーション演習



オンライン映像教材・プレゼンテーション

宍戸 真 高橋 真理子 Kevin Murphy 共著 ●定価 2,970 円(税込)

## Reuters Global News Feed

ロイターニュースが伝える世界の今

オンライン映像教材・ニュース

小林 敏彦 Bill Benfield 共著 ●定価 2,860 円(税込)



## English for the Global Workplace

映像で学ぶ場面別ビジネス英語

オンライン映像教材・ビジネス

塩見 佳代子 Matthew Coomber LiveABC editors 共著

●定価 2,860 円(税込)



## BEST PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST -Pre-Intermediate-

TOEIC® L&R TEST への総合アプローチ -Pre-Intermediate-

TOEIC® L&R TEST 総合対策

吉塚 弘 Graham Skerritt 共著 ●定価 2,750 円(税別)



## COMPREHENSIVE PRACTICE FOR THE TOEIC® L&R TEST

TOEIC® L&R TEST 総合対策

TOEIC® L&R TEST 600 点への徹底演習

Jonathan Lynch 委文 光太郎 共著 ●定価 2,530 円(税別)



## TOPIC-FOCUSED APPROACH TO THE TOEFL ITP® TEST

TOEFL ITP® TEST

頻出トピックで攻略する TOEFL ITP® TEST 実践演習



小倉 雅明 青田 庄真 関谷 弘毅 Arnold Arao 鬼頭 和也 佐藤 健 共著

●定価 2,640 円(税込)

## Meet the World 2025 -English through Newspapers-

メディアで学ぶ日本と世界 2025

総合教材・時事英語

若原 保彦 編著 ●定価 2,310 円(税込)

## Our World, Our Stories

変動する世界と現代社会の再発見

社会問題・リーディング

Dave Rear 著 ●定価 2,200 円(税込)

## Exploring Liberal Arts in the 21st Century

21 世紀の国際教養

リーディング・ライティング

日本国際教養学会 編 ●定価 2,200 円(税込)

## Care for All

-Effective Patient Communication for Healthcare Workers-

医療従事者のためのやさしい英語コミュニケーション

総合教材・看護・リハビリテーション・コミュニケーション

田中 博晃 眞砂 薫 共著 ●定価 2,420 円(税込)

お問い合わせは

株式会社 成美堂

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-22

TEL 03-3291-2261 / FAX 03-3293-5490

URL <https://www.seibido.co.jp> e-mail: [seibido@seibido.co.jp](mailto:seibido@seibido.co.jp)

●見本テキストをお送り申し上げますので、電話、メール、弊社ホームページ等でお申込みください。

# CaLabo<sup>®</sup> MX

授業運営に必要な機能と、先生にやさしい操作性で  
PC学習も、スマホ学習も一元管理。

## 語学4技能学習に特化した クラウド型のMALLシステム

語学4技能の  
学習支援

4技能に対応した  
学習支援機能が充実。

導入コスト  
運用負荷の低減

導入コスト・運用負荷を  
抑えます。

学習履歴を  
一元管理

PCもスマホも！  
学習した内容を一元管理。



MALLとは、“Mobile Assisted Language Learning”の略。ノートPCやスマホなど可搬性のあるモバイル端末を利用した語学学習を指します。

### 語学4技能の学習に対応した豊富なアクティビティ

AIを活用した  
機能も搭載!

### 学習履歴を一元管理



音声速度や音量の調整、A-Bリピート  
などリスニングに便利な機能を搭載。



- リスニング
- シャドーイング
- ディクテーション
- 部分ディクテーション



シャドーイングや読み上げ音声録音など。  
音声認識により、一部のアクティビティで  
自動採点を実現。



- シャドーイング
- レコーディング
- 発音矯正\*

\*ライセンスの形態により、  
ご利用できない場合があります。



リーディングの補助として、単語の早引きや「My単語帳」への登録、習得済み単語の色分けが可能。



- リーディング
- 英文要約
- 語彙クイズ



ディクテーションでは聞き取った英文を  
書き取り、その内容の自動採点を実現。



- ディクテーション
- 部分ディクテーション
- 英文スクリプト要約



4技能別、学習者別、  
クラス全体の集約など細かい単位で  
履歴を参照可能です。





# 企業が選ぶ 英語スピーキングテストの 決定版

ヴァーサント  
**VERSANT**<sup>TM</sup>  
by Pearson

VERSANT への切り替え増えてます！  
国内約 **500** 社が導入

本当のビジネス英語スキル、可視化できていますか？

世界 **160** カ国 年間 **300** 万人 が受験

スマホ・PC 完結で、手軽に実践的な英語力を測る世界標準のテスト

- 最新の AI でブレない判定
- 負担を軽減する管理者ツール etc...

採用に

研修の効果測定に

昇進・駐在基準に

## VERSANT CP (Corporate Program)

- VERSANT CP Speaking & Listening 6,000 円 (税抜)
- VERSANT CP Writing 4,000 円 (税抜)
- VERSANT CP 4-Skills (Placement) 7,000 円 (税抜)

□お問い合わせ  
日経メディアマーケティング株式会社  
グローバル事業室  
global-jigyo@nikkeimm.co.jp

まずは担当者・少人数で  
体験したい！

法人ご担当者様向け  
VERSANT トライアルフォーム



About

Lineup



日本メディア英語学会会報

2025年1月号（通巻148号）

発行：一般社団法人日本メディア英語学会

〒718-8585 岡山県新見市西方1263-2 新見公立大学健康科学部内 山内 圭 研究室気付

TEL: 0867-72-0634（代表）

URL: <http://james.or.jp>

Email: [office@jaces.or.jp](mailto:office@jaces.or.jp)

発行人：山内 圭

編集人：三田 弘美